

令和元年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 令和2年1月23日（木） 午後1時40分～午後2時40分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 16人
〈鳥取県健康会館〉
岡田委員長、植木・加藤・清水・辻田・高橋・中安・丸瀬各委員
オブザーバー：県健康政策課がん・生活習慣病対策室 山本課長補佐
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣課長、澤北主事
〈鳥取県中部医師会館〉森尾・若林委員
〈鳥取県西部医師会館〉能勢・吹野各委員

挨拶（要旨）

〈岡田委員長〉

本日は、ご多忙のところ、ご参集頂き、ありがとうございます。

各地区でも非常に熱心に健康教育活動を展開して頂いており、感謝申し上げます。

いくつかの事業の見直しを行っているので、ご意見を伺いながら、より良い形で事業を継続していきたいと思っている。ご審議の程、よろしくお願ひする。

報 告

1. 平成30年度事業報告及び令和元年度事業中間報告

（1）健康教育事業：岡田委員長より説明

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成30年度は20回、令和元年度は1月現在で20回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載している。

②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q & A」を平成30年度は29回、令和元年度は1月現在で19回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

平成30年度は鳥取県医師会公開健康講座10回開催（8月の第3木曜日は盆休みのため、また、3月は祭日休みのため、開催しなかった）。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年16回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあて、東中西の3地区においても3回ずつ同様のセミナーを実施。

令和元年度は鳥取県医師会公開健康講座12回開催予定。

「生活習慣病対策セミナー」については年16回開催。東中西の3地区医師会において、3回ずつセミナーを実施することとしていたが、東部で10月に開催予定だったセミナーが台風のため中止と

なり、3地区でのセミナー開催は8回実施となる。東部医師会においては、年度内にセミナー開催が計画されていないことから、鳥取県医師会公開健康講座のうち8回を生活習慣病セミナーにあてることとなった。

（2）地域保健対策：岡田委員長より報告

平成27年度より、鳥取大学医学部消化器内科松本和也先生、武田洋平先生を中心にして「鳥取県における膵癌診療の実態調査」を行っている。

2010年以降、鳥取大学消化器内科胆膵グループは、病学的エビデンスを取得し膵癌診療に臨む重要性を県内外に啓発してきたが、第三回膵癌実態調査として、2015年～2017年度における鳥取県の膵癌患者に対して、同様の検討を行うことを目的に、第二回と同じ鳥取県内11施設の各代表者と2018年6月14日に協議し承認を得た。しかし、臨床研究法の制定以後、臨床研究に際して必要な手続きが増えた事、鳥取県では医師不足は未だ解消されておらず、各施設の医師への負担は収集するデータの質の低下につながる恐れがあるとの提案があり、第三回膵癌実態調査を実施する前に、これまでに実施した検討の予後調査を行い、本検討を継続することで、最終目標である膵癌患者の予後改善に寄与しているかを確認する必要があると結論し、平成30年度事業は第二回膵癌実態調査の検討内容における、予後についての追跡調査を行うこととした。

令和2年1月までに1施設をのぞく10施設からデータを集積しており、今後解析の予定としている。

今後の方針について、令和元年5月29日に協議したところ、参加した施設いずれからも、予後調査を継続することは困難であるといった意見がでた。前述の状況から膵癌実態調査について調査内容を再考すべきと結論し、令和元年度調査をもって一旦休止とすることとなった。

（3）生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（加藤委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を平成30年9月8日と令和元年9月7日に開催した。
2. 鳥取市民健康ひろばにて、平成30年11月23日と令和元年11月24日に鳥取市立病院医師による健康相談を行った。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成30年6月29日と平成31年2月7日に開催した。また、令和2年2月10日開催予定である。
学校、スポーツ指導者関係者が多数参加しており、毎回、好評である。
4. 各会員による健康教育講演は、平成30年度は61回、令和元年度は12月末で34回行った。参加者100名以上は、中学校での健康教育講演である。令和元年には地域医療構想について、鳥取市立病院の先生にお話しをしていただいた。

〈中部医師会（森尾委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成30年度は7月8日に「認知症はこわくない」をテーマに開催し、参加者は60名であった。
また、令和元年度は10月20日に「知っておきたい感染症対策－命を守るために－」をテーマに開催し、参加者は32名であった。
2. 各会員による健康教育講演は、平成30年度は65回行い、令和元年度は23回計画している。
がん予防、生活習慣病予防の話や、学校での禁煙防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（吹野委員）〉

1. 健康教育講座を平成30年度は米子市内の公民館で23回、境港市で12回行った。令和元年度は12月現在で米子市内の公民館で10回、境港市で14回行った。
2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、平成30年度は12

回、令和元年度は12月現在で9回開催されている。毎回、100人以上参加されている。

3. 各会員による健康教育講演は、平成30年度は62回、令和元年度は集計中である。

4. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行っている。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成30年度は53件、令和元年度は1月現在で41件の相談があった。

以上の報告から、以下の話があった。

- ・特に、令和元年4月に開催された西部医師会一般公開健康講座「知ってほしい！正しい認知症予防」は、参加者が270名と多かった。
- ・辻田委員からは、鳥取県医師会公開健康講座を担当しているが、今後取り組んだ方がいいテーマがあったら意見をお願いしたいという話があった。

協 議

1. 令和2年度事業計画（案）：

岡田委員長より説明

（1）健康教育事業

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間24回掲載続行予定。

②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q & A」を木曜日（月2回～3回）

に掲載続行予定。

③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

鳥取県医師会公開健康講座の受講者には、受付名簿に住まいの市町村名と名前を記載して頂いていたが、個人情報の取扱いのこともあり、事務局より提案した様式のとおり、今後は、名前は記載しない様式に変更することとなった（受講者の住まいの市町村名、年齢、性別の該当に○を付ける）。

委員からは、SNS、QRコードを活用して、住民への健康情報提供等についての話があったが、今後の検討課題である。

（2）地域保健対策

「鳥取県における膀胱癌診療の実態調査」については、令和元年度中間報告で説明があったとおり令和元年度をもって一旦休止となる。次の研究テーマについては、岡田委員長より健対協の疾病構造の地域特性対策専門委員会で行なわれている「鳥取県の肝細胞癌サーベイランスの課題」を候補と考えているという話があった。疾病構造の地域特性調査研究項目も毎年見直しを行っており、「鳥取県の肝細胞癌サーベイランスの課題」は10年以上経過していることから、検討の対象となっている。しかし、肝がん患者の約6割がNBNC型を占めており、特に西部地区に多いこと、糖尿病、生活習慣病既往との関連等、今後の治療方針のこともあり、研究を継続して行う必要があると考えているという話があった。協議の結果、令和2年度より肝細胞がんサーベイランスを行うことが承認された。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。